

令和6年度第3回札幌方面手稲警察署協議会議事概要

- 1 開催日時
令和6年12月9日（月）午後4時00分から午後5時20分
- 2 開催場所
手稲警察署3階大会議室
- 3 出席者
 - (1) 協議会委員
6人（定員8人）

役 職	氏 名
会 長	佐 藤 隆 司
副会長	鶴 敦
委 員	丸 山 克 子
委 員	中 村 淳 子
委 員	佐々木 陽 子
委 員	小 形 雅 和

（敬称略）

(2) 警察署 12人

職 名	氏 名
署 長	河 野 浩 信
副 署 長	山 本 博 幸
刑事生活安全官	上 野 賢 一
地 域 交 通 官	酒 井 泰 明
警 務 課 長	高 橋 昌 弘
生活安全課長	山 崎 哲 也
地 域 課 長	渡 邊 敦 司
刑 事 第 一 課 長	三 枝 哲 也
刑 事 第 二 課 長	山 越 雅 史
交 通 第 一 課 長	相 馬 義 範
交 通 第 二 課 長	上 村 大 地
警 備 課 長	菊 地 慎 也

4 議事進行内容

- (1) 開 会
- (2) 協議会会長あいさつ
- (3) 署長あいさつ
- (4) 議題協議
熊対策について
- (5) 質疑応答
- (6) 次回協議事項について
- (7) 警察装備紹介
- (8) 閉会

5 委員からの意見、提言等

【委員】

熊対策において、警察署の説明では、熊の出没情報があった際は、札幌市の職員や猟友会の方々と足跡や糞などを確認し、熊なのかどうなのか判断するとのことであるが、他の動物と見分けることはできるのか。

【警察署回答】

警察に熊の専門家はおりませんが、熊の生息地域で勤務した経験のある職員の中には見分ける知識を持っている者もおります。

【委員】

報道ではハンターの人数が減っているとのことですが、道内にはハンターと呼ばれる方は何人位いるのか教えてほしい。

【警察署回答】

警察で人数は把握しておりません。出動の際は、手稲警察署管内であれば、札幌市（手稲区役所）を通じて猟友会に連絡し、対応してもらっています。

【委員】

警察署の説明で、「さっぽろヒグマ基本計画」なるものがあることを初めて知った。その一方で、駆除した際、動物愛護団体や地域住民から批判を受けたり、駆除に関して自治体、警察と猟友会との関係がうまくいっていない地域は、ハンターが出動を拒否するなどの報道があるが、手稲警察署管内では、関係はうまくいっているのか。

【警察署回答】

札幌市と周辺の猟友会の関係は良好と聞いております。

【委員】

消防も警察と山岳遭難者の救助等を協力して行っているが、活動中に熊と遭遇した場合回避行動は困難であるため、今後も警察と協力して活動していきたい。

【警察署回答】

警察署においても熊対策に特化した装備はありませんが、一般の登山者が携帯している熊スプレーは配備されています。

【委員】

住民の居住地域と熊の生息域の住み分けは重要であると思う。高速道路に近い熊の出没地域が住み分けの境界となっているのかと思われる。

【警察署回答】

一概には言えませんが、高速道路と山林が住み分けの境界となっていることが考えられます。

また、住民の居住地域から熊を遠ざけるため、電気柵の設置も有効と思われますが、自治体等関係機関と連携して対応していくことが必要と思われます。

- 6 次回テーマについて
闇バイトに関する犯罪の発生現状と対策について

- 7 次回開催予定
令和6年度第4回警察署協議会の開催日程
令和7年3月初旬を予定

令和 6 年 月 日

印

令和 6 年 月 日

印